

2026年5月20日

2026年3月期決算説明会 質疑応答要旨

株式会社 平和 経営企画グループ

2026年5月18日に開催いたしました「2026年3月期 決算説明会」における質疑応答の要旨は以下のとおりです。

Q1：遊技機事業の2026年3月期の振り返りと今後のブランド力回復に向けた取り組みについて教えてほしい。特にパチンコの稼働が低迷する中、相対的に強いパチスロをどう活かすかが鍵と考えるが、新台の「L 戦国乙女 5 業火を穿つ宿焰の双刃」は回復の起爆剤となり得るのか。

A1： 2026年3月期の販売実績は、パチンコが3.2万台強、パチスロが3.2万台弱、合計6.4万台程度で厳しい結果となった。パチンコについては、LT3.0プラスが当初話題を集めたものの、継続的な稼働には至らなかった。パチスロについては、業界全体で型式試験の遅れが発生し、販売台数に影響がでた。

今後のブランド力回復に向けた取り組みについてだが、6月に市場導入予定の「L 戦国乙女 5」は、最近の当社タイトルでは最も販売予定台数が伸びている機種であり、現在2.5万台程度の受注状況で良好な推移。「L 戦国乙女 5」を起爆剤として、まずパチスロの販売台数を確実に伸ばし、当社遊技機のブランド力回復へ繋げていく。

また、業界全体の取り組みとして、射幸性に頼らない遊びやすく分かりやすい、多種多様な遊技機の普及を推進するなど、プレイヤーを引き付ける施策を組合やメーカーとして検討している。

Q2：ゴルフ事業について、来場者数は順調な推移だが、インフレやガソリン価格上昇などがプレー回数に悪影響を及ぼす可能性はあるのか。

A2： 過度なガソリン価格の高騰などがプレーマインドの低下につながる可能性は否定できないが、当社では様々な施策を実施しており、来場回数減少の影響は限定的と見込んでいる。

Q3：アコーディア・ゴルフとのPMIの進捗状況、特にコスト面での効果はどうか。

A3： PMIの進捗は順調であり、PGM・アコーディア合同で様々な施策を進めている。コスト削減効果の代表的な取り組みとして、公式サイト予約における優遇料金制度「ジカドリ」の導入により自社直接予約の比率が向上しており、費用面でかなりの効果を発揮している。インフレの影響でコスト増要因が発生しているのも事実だが、スケールメリットを活かした購買の一元化による効果も出ており、物価上昇にも耐えられる体制が整いつつある。また、予約サイトを含むシステムの統合が進行中であり、来期以降はソフト面でも効果が発現すると認識している。

さらに今後は、持株会社体制への移行に伴う組織体制の合理化により、スピーディーな経営判断が可能となり、さらなるシナジー効果が期待できると考えている。

以上